

ぞうえん山梨

豊かな緑で山梨の未来を創る！



第2回山梨街路樹 フォトコンテスト最優秀賞

「日本の美」芦澤 菊雄 作品

目次

■会長あいさつ	2項	■街路樹フォトコンテスト	7項
■北村教授	3項	■特集 協会員の仕事	8項
■大山教授	4項	■青年部の活動	15項
■校庭芝生化	6項	■会員名簿	16項

協会の社会貢献活動について



(一社)山梨県造園建設業協会
会長 石原 政人

(一社)山梨県造園建設業協会会長に就任して以来、会員と一丸となって造園技術の向上と協会の健全な発展に努めてまいりましたが、その間、当協会に對しまして、格別なご支援ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

造園建設業協会が一般社団法人化したなか、協会活動を通じて造園建設業の確かな未来を築いていくため、公益目的社会貢献事業の推進が事業の大きな柱となってきております。

こうした社会貢献事業のための予算を確保しながら公益目的事業を行い「街路樹フォトコンテスト」「きづかいの森」「校庭芝生化」など、社会貢献の効果をより高めていくため、行政機関や大学等教育機関とも連携し、広く県民の皆様から評価を受けられる事業を展開しております。

特に、きづかいの森事業では地球温暖化防止、水源涵養、県土保全等、森のもつ公益的機能の確保のため、企業の森事業を推進し、平成21年8月から県の仲立ちにより富士川町平林地区（民有林5.1ha）において環境緑化に資する社会貢献事業として「やまなし森づくり」を4年間に渡り実施してきました。平成24年までに森林整備が一段落したことから、地元と協議のうえ平林地区については経過観察を行いながら必要に応じて森林整備を行うこととし、平成25年度からは3年計画で作業場所を甲府市緑ヶ丘スポーツ公園（湯村山自然観察路）に移して実施して成果を上げてきております。

来年度からは公益財団法人オイスカと共に山梨市水口地区で行われている「ライオン山梨の森」整備事業に参画して、協会の造園技術を活かした提案や技術協力を行っていく方針であります。

また、人材育成事業の一環として高校生を対象に造園技術の出前講座を実施しており、人材育成事業の充実を諮ってまいりますので、ご協力をお願い致します。

平成27年度 第3回定時社員総会開催

平成27年5月25日、造園建設業会館において第3回定時社員総会が開催された。

総会に先立ち、来賓として出席した宮川典子衆議院議員、堀内詔子衆議院議員及び県・県土整備部、加々美格示まちづくり推進企画監より祝辞を頂いた後、協会功労者表彰が行われ、大塚広夫（雲松園）塩島康雄（富士グリーンテック）鳴津英伸（辻緑化土木）3氏が石原政人会長より表彰された。

総会では、平成26年度決算報告が全会一致で承認され、役員改選では提案した10名が理事に選出

され、臨時理事会の後、石原政人氏が引き続き会長を務めて行くこととなった。また平成27年度事業計画、27年度収支予算についても全員一致で承認された。



紅葉に想う



山梨大学生命環境学部・地域社会
システム学科
教授 北村 眞一

冬が間近にせまると東の間の樹々の色づきに魅了されて、多くの観光客がやまなしを訪れます。落葉樹の秋の色づきかたには、ブナなど黄葉、モミジなど紅葉、ケヤキなど褐葉があります。さらに緑から赤へ直接変わるものや黄色や褐色を経て赤くなるものもあります。しかし黄や赤でも、一枚の葉の斑模様や、一本の樹の枝の方位や上下で葉の色は微妙に異なり、色調は実に複雑です。葉を順光の反射光で見るとに比べ、逆光の透過光で見ると一層色がはっきりして華やかです。さらに一本の樹でさえ魅力的ですが、森林となると一層引き立ちます。たとえば八ヶ岳山麓の東沢大橋からの秋の眺めは、モミなど針葉樹の緑葉と紅葉と黄葉の色彩が微妙に混ざった屏風が織り込まれ、光と影の変化もあって、いつまで見ても飽きることはありません。やまなしの紅葉の色づきが良くて格別なのは、夏季の強烈な紫外線、晩秋季の干し柿にあった乾燥化、急激な冷え込み

といった好条件によるようですが、3000m級の山岳と盆地や谷の地形と落葉樹林の植生がその基盤にあることは間違いありません。

やまなしの地形や気候は、自然を魅力的にしますが、住民にとってはこの気候は体にとっては過酷です。ところがよくできたもので、移り住んで2年もたてば、冬の東北や夏の九州へ行っても順応できる気候変化に強い人間が出来上がるようです。では人間はなぜ紅葉を美しいと感じるのでしょうか。私たちにはそのことの自覚ができません。そのことから、生物学的な一つの仮説が思いつきます。それは距離感や色彩を深く見分けることができる眼を持ち、森林に生息するサルが進化したヒトは、落葉樹林と共生関係にあるからではないかということです。人間の味覚が食べ

られるかどうかを見分ける役割をもった器官であるように、視覚も生きられる環境、景観をみわける器官としての役割を持っているのではないのでしょうか。そのことを「おいしい」とか、「美しい」と表現しているのではないのでしょうか。新緑も紅葉も落葉も被子植物とともに進化したヒトにとっては、地球上であるいはやまなしという地域で、ともに生きる生存の基盤であるからではないかと考えますが、この真相はわからないのが本当のところでは。

樹木は本来無条件に人間にとって好ましい環境をつくるものと思われませんが、信号が、標識が、電線が、日当たりが、落ち葉が、鳥がなど、都市住民にとって不都合なことも街中では起こっています。もともとの自然の森林に比べて、人工化された農地や都市の中では、樹木のつくる環境のあるべき形におのずと違いがあるべきものなのでしょう。そこに庭、街路、公園の樹木管理の必要性が生まれ、人工的環境に対して自然である樹木のメリット・デメリットの均衡をとって、居心地の良い環境を形成するために、造園業が必要とされているのではないのでしょうか。



▲山梨大学キャンパス



▲美術館のイチョウ



山梨大学生命環境学部・地域社会
システム学科
教授 大 山 勲

「21世紀は・・本気で みどりの時代」

近代以降、私たちは都市化を優先し、緑・水の空間を狭めてきました。1980年代にはアメニティなど居住環境における自然への意識が高まりを見せましたが、その後、緑・水の環境が豊かになったとは思えません。同じ頃、ドイツでは Landschaftsplan（景域計画）が法定都市農村計画の上位に位置づけられ、緑地空間づくりが進み、都市環境の改善や都市再生に効果をあげています。さらに、近年は人口減少時代に積極的に都市を緑豊かな環境に整えようとする Shrinking Policy（創造的縮合政策）も実践されています。

一方、地球規模の温暖化の進行によるゲリラ豪雨の多発や、日本においては地震火山の活動期に入った可能性も指摘されています。従来の防災対策手法の限界が明らかになり、自然と共生する知恵-例えば森林機能や遊水機能や水防林や安全な居住地立地など、日本が古来より受け継いできた知恵-に改めて学ぶ必要が認識されつつあります。自然災害の少ない平穏な特異な世紀に造られた都市・居住環

境の形を考え直し、本気で緑の空間づくり（居住地とオープンスペースの配置）を行うことが必要な時代になったと思います。

また、山梨では、緑の空間づくりは地域活性化のチャンスにつながると思います。圧倒的な知名度の「富士山」を持ち、海外からの観光客の持続的な増加が見込まれ、大都市東京に隣接し、12年後にはリニア新幹線が開通します。このチャンスを活かし持続させ、さらに暮らす人々の環境も快適にするためには、当たり前ですが「山梨の魅力（山梨がもともと備えている景観とそれをつくった生活文化）」を磨くことが必要でしょう。海外観光客はその地域らしさを求めています。例えば「山岳に囲まれた田舎、扇状地の水害をかわし扇状地を活かした田舎」の景観・・・その景観づくりの要になるのは緑の空間づくりだと思います。



▲左：カールスルーエ市のランドプラン 緑が林地 黄緑が公園 濃緑が街路樹帯で緑のネットワークが形成されている。右上：幹線道路沿いの緑の回廊。右下：市の中心商業地は車を排除して歩行者とライトレール（路面電車）と緑の空間。

「魅力的なみどりの要素」

甲府盆地には緑（特に平地林や大樹）が少ないと言われます。おそらく、扇状地で洪水が頻発し大きな緑が育ちにくい、雑木林が残りやすい段丘崖などの地形が少ない、風が弱く防風林が少ない、などの影響が推察されます。自然に「なる」緑が少ないので、「つくる」緑が主役です。それは、水防林・土手の緑、神様や場の意味をこめた緑、庭の緑、農地（水田と段々畑）の緑など。他方、風の強い北杜市では屋敷林や防風林が特徴ですし、郡内・峡南地方では段丘の緑が、富士山麓では茅場の草場が原風景につながる特徴です。

山梨らしさや田舎らしさを考えると、緑の空間づくりは公園や街路樹だけでなく多様に広がります。また、公園や街路のつくり方にもアイデアを与えてくれます。いくつかの例を考えてみましょう。

（1）山の眺望・盆地の俯瞰-山の緑を取り込む

日本では標高 3000mの山に囲まれた景観はフォッサマグナ西端だけで、この山岳眺望は山梨の財産です。この景観を活かすためには「視点場をつくる」ことが重要です。ふだん私たちは山がきれいだと感じていますが、いざ、



▲笛吹市サイン計画(2013) 案内板で地域を眺めながら案内する視点場をつくって行く計画。

また鍵の手(街道筋にあるクランク)、一里塚、坂上など意味の込められた場所もあります。鍵の手などは道路の線形改良によって失われることがあります。残地の広場空間化など、伝統的空間の設えに学びながらその場所性が後世に伝わるような整備が望まれます。

(3) 伝統空間のセンス - 共空間のデザイン

農村集落や前近代の都市の伝統景観は最も山梨らしい魅力的な景観です。その魅力をつくっている重要な要素の1つに共空間(公私の境界空間)があります。前近代の人々から受け継いだ一自然と共生する感覚が生んだ一共空間のセンスに学ぶ必要があると思います。



▲左: 地形の変化点に置かれた神様とご神木。右: 住民の発案で道祖神を保存した小広場



「みどりのまちづくり」

山梨の魅力的な資源を発見し守り磨き、後世に伝えることが、山梨の魅力を高め地域活性化や住環境の快適化に繋がることは間違いありません。重要なことは歴史に学び尊重し歴史と連続させる取り組みです。

しかし、上述した緑の空間づくりは、土地利用や私有地の緑化に対する調整などが主題になり、市民参加、市民と行政の協働、総合的・法定的な空間マネジメントなど、面倒で、しかも現状では公共事業として評価されにくく民間事業としてもインセンティブが働くとはいえない、お金が付きにくい仕事だと思えます。しかし、出来る範囲で、このような歴史と連続した緑の空間づくりのセンスを取り入れてほしいと願っています。

山梨を訪れる観光客は、自然は美しいが街(つくる景観)はきたないと評価しています。

地域資源を発見し、磨き、後世へ伝える「みどりのまちづくり」の実践を通じて、地域への愛着や誇りを回復させ、緑の空間づくり・山梨らしい景観づくりの輪を広げていきましょう。



◀左上: 農村集落の道。左下: 道祖神回りを飾る個人庭の緑。右上: 農村集落の共空間(道におもてなし空間)

校庭に芝生があるということ

甲斐市立双葉東小学校校長
矢崎茂男

全くの偶然であるが、私はこれまでグラウンドの芝生と三たび向き合った。

一度目は、平成14年のサッカーワールドカップ日韓大会後、日本サッカー協会が、収益金の一部をグラウンドの芝生化の助成に充てる提案をしたことに伴うものである。私は当時、県サッカー協会（12歳以下の部）委員長を務めていたので私がこの担当者になったのである。芝生化を決定した県内の一ヶ所が、旧須玉町の穂足小学校跡地のスポーツ広場だった。植え付け工事後、芝生は町に寄贈されたのだが、散水や草取りなどの作業は、私の朝夕の仕事になった。広場が自宅の目の前にあったことに加え、業者への委託は、予算上、施肥や芝刈りに限られたからである。この仕事は、グラウンドが業者管理に完全移行するまで、3年間続いた。手をかければかけるほどに生長する芝生との付き合いは、子育てのように楽しかった。



二度目は昭和町立押原小学校校庭の芝生化である。学校予算にティフトン芝の苗代20万円が計上され、植え付けの簡易見取り図が用意されていた。6月中旬の土曜日早朝、子ども、保護者、地域の有志の協力を得て、一万株のポット苗を50cm間隔に植えた。前日には、地元の造園業者が耕耘を、植え付け後は施肥などの作業を無償で行ってくださった。感謝にたえない。この芝生化事業には散水設備の予算が盛られていなかったため、校舎外の水道の蛇口からホースを延ばし、先端に回転式簡易散水機を取り付けて十分間隔で移動させ、全体に限なく水を撒く作業には2時間を要した。植え付けから2か月後の8月互いにランナーを延ばしていた苗たちが、ついに繋がった。教え子たちがすくすく成長し、仲良く握手を交わしたようなほほえましさと喜びを感じたことが、昨日のこのように思われる。

三度目は、本年（平成27年）4月、校長として着任した甲斐市立双葉東小学校の校庭に整備されていた芝生との関わりである。同校の芝生化工事は、平成21年に竣工。押原小とは異なり、校庭周縁部に加えてトラックを除く中央部にも植え付けられている陸上競技場の形状である。また散水設備が完備され、ボタン一つで自動的に芝生全体に散水できるという利便性の点でも全く異なっていた。しかし労苦を伴わない管理は、愛着や関心をもたらすににくいというマイナス面を持つ。中央部の芝生は過使用によって擦り切れ勢力が衰えがちだが、そこに着目し、問題を解決しようという意識が職員室に生じないのは、このことの証左である。

子どもたちが安全に運動できるという点。芝生の心地よい感触が子どもたちを外遊びへと導くという点。植物をいつくしむ心をはぐくむ教育的効果の側面。校庭の土・砂の強風による飛散や雨天時の流出が減るという物理的側面など、校庭の芝生化は、有形無形の様々な利点を持つ。



しかし、山梨県内の学校施設の芝生化は進展しない。設備投資・維持管理に多額の経費を要することに対して、自治体が二の足を踏まざるを得ないのは致し方ないことである。進展を図るには、例えば押原小の芝生化事業のように、手作りで低コスト、なおかつ植物としての芝生への愛着と関心をもたらす手法も参考になるだろう。偶然にせよ、三たび芝生化に関わった身として、これからも関心を寄せていきたい。

第2回街路樹フォトコンテスト

Landscape
YAMANASHI

【表紙掲載】

芦澤 菊雄

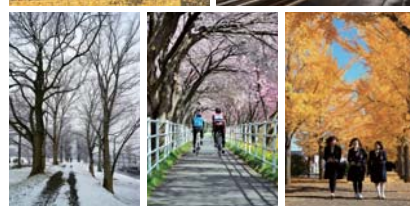
青空と正面に雪景色の富士山、そして満開の桜並木、撮影の時間帯とカメラポジションを考え、お気に入りの風景を撮影。



優秀賞「春の散策路」
佐野俊昭 作品

青空に満開の桜並木の美しさに魅せられて撮影。桜の花を見上げては歩き、また歩く。

入選作品



優秀賞「樹蔭」
日原美恵子 作品

公園の木の下に集う人たちを見て、自然の中で樹木に癒されたのどかなひと時を感じた。



優秀賞「木漏れ日に包まれて」
木谷昌経 作品

普段何気なく目にしている公園の街路樹を撮影。街路樹とは「生活に身近な存在」であり「自然の温もりを感じる事ができるもの」と改めて感じた。

※上記文は撮影者のコメントを一部抜粋したものであり、本文は協会HPに掲載。

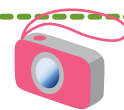
やまなし街路樹

フォトコンテスト作品募集中

見慣れた風景の中にある街路樹いつもと違う視線で観てみよう

詳細はwebで!

<http://www.zo-en.or.jp>



甲斐市造園デザインコンクール

Landscape
YAMANASHI

このコンクールは、甲斐市の公園整備の参考に資するため、県内の学生を対象に「グランドゴルフが出来る都市公園」を課題に甲斐市及び県内報道各社の後援を得て(一社)山梨県造園建設業協会が実施した。

コンクールには農林高校、北杜高校から8作品(25名)の応募があり、審査会で最優秀賞2点、優秀賞2点、入賞4点を選出した。表彰式は12月22日甲斐市役所において行われ、保坂武市長と主催者である石原会長から感謝の言葉とともに、表彰状と記念品が各受賞者に贈られ、作品は市役所1階ロビーに展示された。



『最優秀賞』
浅川智樹(3年)・岡本 淳(3年)
北杜高等学校



『最優秀賞』
長岡香奈(3年)・長坂ちひろ(3年)
大和田莉来(3年)
農林高等学校



「造園デザインコンクール」表彰式

協会の仕事

施工者	(株)富士グリーンテック	工事概要 高木伐採工 121 本、低木伐採工 305 株、 高木植栽工 39 本、中木植栽工 97 本、 低木植栽工 4918 株、地被類植栽工 20508pot、張芝工 700 m ² 、移植工 10 本、 植栽基盤 538 m ²
工事名	県庁構内二工区外構整備植栽工事	
工事場所	甲府市丸の内1丁目6-1	
工期	平成27年1月26日～平成28年3月15日	
発注者	県土整備部営繕課	

《内 容》

オープン県庁敷地整備計画に基づき、二工区目の植栽工事として発注された。県庁敷地全体の統一感や周辺環境に十分配慮する中で、本館前庭はオープン化にふさわしく明るく開放感のある広場として整備し、別館北側は来庁者が最初に訪れる場所となることから、開放感のある気軽にくつろげる芝生広場として整備した。



施工者	(株)石原グリーン建設	工事概要 高木伐採工 121 本、低木伐採工 305 株、 高木植栽工 39 本、中木植栽工 97 本、 低木植栽工 4918 株、地被類植栽工 20508pot、張芝工 700 m ² 、移植工 10 本、 植栽基盤 538 m ²
工事名	県庁構内一工区外構整備植栽工事	
工事場所	甲府市丸の内1丁目6-1	
工期	平成26年10月10日～平成27年6月15日	
発注者	県土整備部営繕課	

《内 容》

オープン県庁敷地整備計画に基づき、一工区目の植栽工事として発注された。県民に身近で利用しやすい開かれた敷地とするため敷地境界にある門扉・フェンスをできる限り取り除き、県民や観光客などの通行を容易にした。県指定有形文化財である別館の眺望に配慮し植栽をおこない本館前庭の石や樹木の一部を移植した。



協会の仕事

施工者	山梨ガーデン株式会社	工事概要	花壇植栽 2900 株、高木植栽 2 本、中低木植栽 6 本、張芝 250 m ² 、土壌改良 1440 m ² 、盛土工 430 m ³ 、暗渠排水 485m、残土処分 1160 m ³ 、防草工 1200 m ²
工事名	富士川クラフトパーク植栽工事		
工事場所	南巨摩郡身延町下山地内		
工期	平成 26 年 10 月 2 日～平成 27 年 3 月 25 日		
発注者	山梨県峡南建設事務所		

《内 容》

富士川クラフトパークは峡南地域のほぼ中央に位置し、地域振興拠点として、あるいは地域の集客拠点として極めて重要な役割を担っている。平成 29 年度には全線供用開始の予定となっている中部横断自動車道による効果をどれだけプラスにするか、魅力づくりのために地域一丸となりその準備をする必要がある。活性化のためには、通過する人々に峡南地域の各インターに下りて頂き、どれだけ長く滞在してもらうかが大きく問われている。こうした意味において、約 53 ヘクタールという広大な敷地を有する富士川クラフトパークは、地域にとって大きな財産であると同時にまた集客拠点の場所である。平成 22 年に開館した「富士川・切り絵の森美術館」・その後「ドックラン」「ふわふわドーム」「テニスコート」が整備されている。新たに建設された「エントランス棟」で食の提供を行うと共に、四季を通じて楽しめる「バラ園」を開園することにより目玉の魅力をつくり、地域活性化への動きを築いて行きたい。



施工者	河野造園土木株式会社	工事概要	ツリーサークル 4 基、シマトリコ植栽 17 本、オムラカギツツ植栽 302 本、石製スワール設置 9 基、石製ベンチ設置 6 基、アスファルト舗装 211 m ² 、インターロッキング舗装 72 m ² 、境界ブロック 40m、枕木設置 92m、車線分離標 15 本、ボックスカルバート設置 8m
工事名	(都) 田富町敷島線 道路植栽工事		
工事場所	甲斐市 大下条 地内外		
工期	平成 26 年 12 月 8 日～平成 27 年 3 月 13 日		
発注者	中北建設事務所		

《内 容》

竜王駅北側の県道に県内では初めてシマトリコを街路樹に用いて植栽を行った。シマトリコは寒さに弱いとされてきたが、近年の温暖化と品種改良により山梨でも暖かいエリアでは植栽可能な樹木となり、最近では民間の庭を中心に非常に注目を集めている。施工場所は竜王駅から近く、マンション、アパートが立ち並び歩行者の利用が多いため、広く空いた歩道スペースを利用しインターロッキング、アスファルト舗装による休憩施設を設けた。高木はツリーサークル内に植栽し、植付のGLを下げることと周囲に防根シートを設置することにより、周囲のインターロッキング、アスファルト舗装の根上がり防止の工夫をした。また、それによる舗装との段差部にはオマクナテンを植栽し歩行者の転倒防止にも気を付け施工した。将来新設道路が出来る部分には、計画 FL にもとづき予め排水施設としてボックスカルバートを設置した。山梨県初のシマトリコの街路樹が地域に緑のうらおいをもたらし、美しい道路となっていくように適切な維持管理をしていきたい。(施工写真は次ページに掲載)

協会員の仕事



施工者	(株)雲松園
工事名	清里の森公園内樹林地等整備業務
工事場所	北杜市高根町清里地内
工期	平成27年9月30日～平成27年12月25日
発注者	中北林務環境事務所

工事概要	沿線木剪定工 4840 m ² 、林地整備工 (伐倒 276 本、造材、集材他)、除伐工 1.38ha、破碎工 1 式
------	------------------------------------------------------------------------

《内 容》

清里の森は昭和 60 年から別荘分譲が開始された県独自の県有林事業である。約 30 年が経過し、200ヘクタールある敷地内の樹木や樹林地の整備が必要となってきた。別荘地内においては沿線沿いで障害になる樹木の剪定を実施した。樹種や樹形を確認しながら、見栄えを考慮した剪定を心がけた。また公園内においては、ノバラや灌木が生い茂っている範囲の除伐、大きくなってしまったカラマツやアカマツ、コナラ等の雑木類の伐採を実施した。完成後には樹林地も明るく歩きやすくなり、小川の流れもよく見えるようになり、別荘や公園利用者にも楽しんでもらえるようになった。



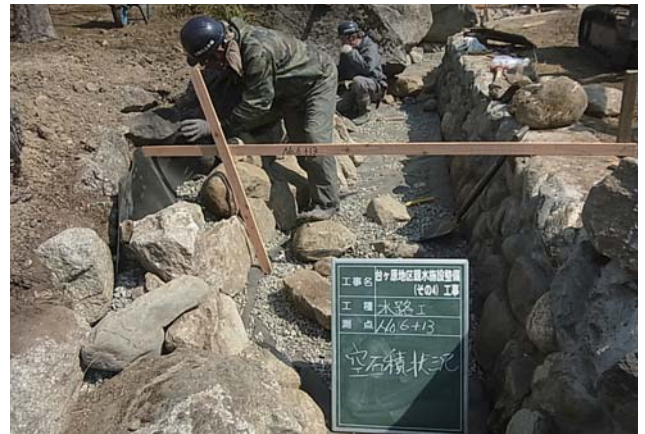
協会員の仕事

施工者	辻緑化土木(株)
工事名	台ヶ原地区親水施設工事(その4)工事
工事場所	北杜市白州町台ヶ原地区
工期	平成26年1月～平成26年5月
発注者	中北農務事務所

工事概要	アスファルト舗装工 959m ² 、碎石舗装工 800m ² 、白州砂利舗装工、水路工、水路付帯工、修景施設工(サイン、車止め、ベンチ、四阿等)、階段工、植栽工
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------

《内容》

地元住民によると、竜福寺周辺の田んぼではかつてホタルが飛び回るのが初夏の風物詩で、家の中に入ってくることもあった。しかし、約20年前からは徐々に農業用水路の整備が進んだこともあり、ホタルが減ったという。住民が4年ほど前に同協議会を設立し、新しく公園を造ることを計画。土地は、趣旨に賛同した同地区の竜福寺や個人の所有地を活用した。尾白川から水を取り入れ、全長約300メートルの蛇行する水路を造った。水路の両側面に丸みを帯びた石を積み上げ、底には石灰石を敷き詰めホタルのエサとなるカワニナが生息しやすい環境を整えたほか、周囲にススキやショウブなどの植物を植えた。甲斐駒ヶ岳を眺められる見晴台やあずまやを設けている。地元の発案から始まった工事の為、全ての工事と調整が必要となり発注者、北杜市、地元台ヶ原地区、地権者、周辺耕作者住民と多くの協力を得て無事に終了することが出来た。北杜市白州町台ヶ原の住民有志らでつくる「台ヶ原ふるさとづくり協議会」(北原雄次会長)は、同所に「ほたる親水公園」を整備した。ホタルが舞っていたかつての宿場町の光景を取り戻そうと、園内にホタルが生息できる環境を整えた水路を約300メートルにわたり造った。



	<p>緑化園芸機材・林業/農業機械・鳥獣害対策機器・刃物 森林アウトドア用品・薪ストーブ・薪ボイラー・除雪機 保冷庫・木材加工機材・保安用品(スパイク付ブーツ等) 高圧洗浄機・法定器具・キノコ菌類・食品乾燥機</p>	<p>株式会社 アセラ</p>
<p>地球への愛、人への優しさ。 当社は優れた品質で社会に貢献します。</p> <h2>山梨スチール株式会社</h2> <p>〒400-0047 山梨県甲府市徳行4丁目13-5 http://www.yamanashi-stihl.co.jp TEL:055-226-3656 info@yamanashi-stihl.co.jp</p>		<p>自然と化学の調和を求め、 技術アドバイスで農業をリードする。</p> <p>〒400-0826 山梨県甲府市西高橋町156番地 TEL 055-235-1968 FAX 055-232-2033</p>

きづかいの森

当協会では社会貢献事業の一環として地球温暖化防止、水源涵養、県土保全等、森のもつ公益的機能の確保のため「きづかいの森」と称し、富士川町平林地区や甲府市緑ヶ丘スポーツ公園内の県有林で7年間に渡り森林整備を行ってきた。今回、新たな試みとして公益財団法人オイスカと共に山梨市の「ライオン山梨の森」整備に参画することとなった。

協会では既に活動している方々に造園技術を駆使し協力して行く予定で、1年目は林道に散乱している落石の除去と林道整備、砂防堰堤周辺の河川整備。2年目には「はじまりの森」周辺に休息施設として、ライオン山梨の森の間伐材を利用したウッドデッキや石畳などを計画している。



▲ライオン山梨の森



▲現在の状況：富士山を一望できる場所ながら、樹木の枝が邪魔をし広場の有効利用が望まれる現状



▲イメージフォト：支障木を剪定し、休憩施設を整備したイメージ

会社紹介

有限会社 美園造園土木

代表 武藤 洋一

住所 甲斐市玉川1447-4



弊社は昭和59年の創業期より、「全ての仕事に誠心誠意取り組む事」をモットーに営業をしてまいりました。公共施設や公園の管理から、地域の方々の「日当たりが悪いから木の一部分だけ切ってほしい。」「引越するけど大切な木だからもってきたい。」「生垣に毛虫がついてしまっているから消毒してほしい。」といった事まで全力で取り組ませていただきます。

また、弊社では山梨県の活性化の為に「やまなし子育てネット」に協賛しており、将来一人でも多くの子供に庭や樹木の素晴らしさを感じていただければ幸いです。

今後も技術の向上、信頼確保、社会貢献により企業の社会的責任を果たし、環境にやさしく安全な社会の創造に向けてあくなき挑戦を続ける所存です。

何卒ご支援、ご指導を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

農林高校との交流授業

未来の造園技術者たちへ

昨年大好評を頂きました造園業界への就職を志している高校生に向けた当協会若手技術者との交流会を本年度も企画進行中です。

本年度も前回同様に県内唯一の造園系学科を有する山梨県立農林高等学校の1年生を対象とし、造園概要から造園工事の施工管理や土木工事等の施工事例等を写真や現場担当者との発表を元に対話形式で学んでもらいます。

また、昨年度交流会に参加していただいた現2年生には、実技講習会としてサンドガーデン作成講習会を計画しています。より造園の魅力を自分の手で感じてもらえる交流会にしたいと企画しました。

今後もこのような交流会を、全県下の高校や大学とも依頼協力させていただきながら、造園業界に興味を持っていただき就職活動のお役にたてればと考えています。



▲サンドガーデン試作品
木枠はSFC材を使用

都市緑化フェア

全国都市緑化あいちフェアを視察研修

平成27年11月8日、愛知県で開催された「第32回全国都市緑化あいちフェア」への視察研修を実施した。このフェアは愛・地球博記念公園をメイン会場とし「緑豊かな街づくり」をテーマに、アイチにとことんこだわる等を基本方針として、9万株の愛知県産の花を使用した。当日は、ボランティアガイドの丁寧な説明もあり、充実した視察研修となった。また、メイン会場を基本無料にするなど、さまざまな取り組みが行われていたのも注目され、当協会の今後の活動にも大いに参考になった。



この「全国都市緑化フェア」は、1983年に第1回が大阪府で開催されて以来、30年以上毎年全国各地で開催されて来た。特に地球温暖化防止、自然災害の防止等が大きな問題となって来た昨今、都市緑化は豊かな国土づくり、地域づくりに欠かせないものとなり、フェアの重要性がますます増している。残念ながら本県ではまだ未



開催だが、「美しい県土づくり」と「観光立県」を目指す本県にとっては、フェア開催を期待したい。

今年のあいちフェアも大変な盛り上がりだったが、毎年各地のフェアで視察研修を重ねて来た当協会としては、その経験を糧に本県での緑化フェア開催に向け各機関との協力が必要である。同時に、全協会員が努力して業界の更なる充実・発展を図り、将来のフェア開催、郷土発展に寄与して行かなければならないことを再確認した視察研修でもあった。



竹材・木材・石材販売
笠井造園資材 有限会社

〒409-3866
山梨県中巨摩郡昭和町西条2461-5
TEL:055-275-2842 FAX:055-275-5554

総合造園緑化資材、石材砂利、越後の刃物、卸販売

有限会社造園資材センター

〒400-0054 甲府市西下条町1346-1
TEL:055-220-2553 FAX:055-220-2554

表彰

黄綬褒章 小林稔蔵氏(株雲松園 代表取締役)



平成27年11月、秋の褒章で長年の造園工としての業績が評価され黄綬褒章を受章した。小林氏は高校卒業後、雲松園に就職し99年より現職。約50年間にわたり造園施工、庭木の手入れの研鑽を積み、幅広い知識と技術を習得した。93年に樹木医を取得後は国や県指定の天然記念物の樹木の樹勢回復業務に携わる。樹齢2000年の山高神代桜や樹齢1000年の根古屋神社の大けやき、靖国神社の気象庁サクラ開花標準木など取り組んだ樹勢回復事例は多数。

また、県造園建設業協同組合理事長、県造園建設業協会理事(技術委員長)、街路樹剪定士指導員、県立峡南高等技術専門校講師等を歴任し、後進の育成や業界団体の発展に多大な貢献をした。14年「現代の名工」(厚生労働大臣表彰)

全国建設産業団体連合会長賞 石原政人氏(株石原グリーン建設 代表取締役)

石原政人氏が長年の山梨県産業団体連合会・理事としての活躍が評価され、平成27年9月29日新潟市「朱鷺メッセ」で開催された全国建設産業団体会長会議において、会長表彰された。

国土交通省・都市局長賞 富士観光開発・富士グリーンテック都市公園コンクール

平成27年10月30日東京都で開催された「ひろげよう 育てよう みどりの都市」全国大会において都市公園コンクール部門で「富士観光開発(株)・(株)富士グリーンテック」が国土交通省・都市局長賞を受賞した。

山梨県造園安全協議会

安全大会開催

- 目的 各支部の年間パトロール結果を報告し優良企業担当者を表彰することにより、会員相互の安全意識の向上を図る。
- 日時 平成27年4月24日(参加者58名)
- 来賓 山梨県県土整備部 技術管理課 久保田一男技術審査監
- 講師 (一社)日本造園建設業協会 野村徹郎技術調査部長



▲表彰される優良企業担当者

一般者向け街路樹マップ開設

- 目的 ホームページ上に現在山梨県に植えられている街路樹の情報を提供し一般県民にも緑に親しんでもらう。
- 利用方法 当協会のトップページの街路樹案内をクリックすると、その地域に植えられている街路樹の種類、特徴を知ることが出来る。

▼こちらのQRコードから閲覧頂けます。



◀新しく新設したホームページ

青年部の活動報告

Landscape
YAMANASHI

青年部景観事業 造園青年部草刈隊

青年部では山梨県の農村景観の維持に向け、造園業界の若手が力を合わせ耕作放棄地の土手や傾斜地等の草刈作業を請け負い、「美しい農村景観」を目指す新事業を企画した。

近年、山梨県は地形的条件や農家の高齢化、人口の減少等の様々な理由から耕作放棄される農地が増えている。山梨県は盆地地形であり傾斜地が多いこと、桑畑の放棄も多く耕作放棄地率は長崎県に次いで全国2位である。一方で、富士山の世界文化遺産登録、グリーンツーリズムなどで多くの人が訪れる地域が増え、美しい農村景観の維持は必要不可欠な取り組みになってきている。また昨年、移住者が住みたい県1位にも選ばれ、ますます「美しい農村」の価値は高まってくると考えられる。しかしながら、実際に農の現場で働く人は少なく、景観維持すらままならないのが現状である。

そこで新しい事業の切り口として、農村の景観維持に取り組んでいけるように、まずは既存の機械や人材で始められる草刈事業や耕作放棄地の解消作業から挑戦してみたい。期待できる成果として、人材育成と教育活動（造園だけでなく、農や里山、地方創生といった観点）、草刈だけでなく、放棄して高木が生えているようなところの伐採、開墾作業の受注等多くの可能性があると考えている。



青年部クリーンキャンペーン



当協会役員及び青年部総勢39名が信玄公の銅像前に朝7時に集合し出陣式を行った後、場所を駅前に移し街頭活動を行った。

8時から山梨県森林環境部の職員も合流し甲府駅前広場周辺の舗道や植え込みにすてられたゴミの回収やクリーンキャンペーン活動を行った。

この活動は「緑あふれる街づくり」を目的に身近な環境をきれいで快適な環境に保っていく山梨クリーンキャンペーンに協力するかたちで平成19年から継続しており、今回で9回目の活動となる。今回は青年部が準備した花の種と造園フェスティバル2015の野菜の種を1000個を配布した。

クレーン作業一式

有限会社 宮川レッカー

本社 〒409-3803 山梨県中央市若宮 22-13
TEL:055-274-0090 FAX:055-274-3636

営業所 〒409-3853 中巨摩郡昭和町築地新居 957-1
TEL:055-275-7540 FAX:055-269-8662
E-mail:miyagawa@ia8.itkeeper.ne.jp



防草シートを使った緑化や頑固な雑草に
お悩みの方は1度ご相談下さい!

自然と人間(みんな)と一緒に幸せになる仕事

白崎コーポレーション

〒409-3601
山梨県西八代郡市川三郷町市川大門5609-1
TEL.080-2950-9893 FAX.055-215-2601

会 員 名 簿

50 音順

会 社 名	代表者名	住 所	電話番号/FAX	E-mail/URL
(株)アセラ技建	久保田茂樹	甲府市蓬沢町 1171	(055)233-4617 (055)233-4633	giken@acera-jp.com
(株)石原グリーン建設	石原 政人	甲府市高室町 269	(055)241-2001 (055)241-0822	office@green21.co.jp http://www.green21.co.jp
(株)石和植木	齊藤 隆夫	笛吹市石和町川中島 378	(055)263-2070 (055)262-4889	isawa@mbd.nifty.com
(株)雲松園	小林 稔蔵	北杜市小淵沢町 3630	(0551)36-2432 (0551)36-4128	info@unshouen.co.jp http://www.unshouen.co.jp
(株)帯金造園	帯金 岩夫	甲府市池田二丁目 11-12	(055)251-4128 (055)251-4194	office@obikane.co.jp http://www.obikane.co.jp
(有)荻野造園	荻野あさ子	甲府市伊勢四丁目 1-12	(055)235-4045 (055)231-2020	ogino@peach.ocn.ne.jp http://www4.ocn.ne.jp/~ogino
(株)河口湖庭園	梶原 陽一	南都留郡富士河口湖町船津 4940-1	(0555)72-0635 (0555)72-5435	yozan@kawaguchiko.ne.jp
(有)窪田造園	窪田 司	甲斐市中下条 1673	(055)277-2111 (055)277-8881	kubotazouen@za.wakwak.com
河野造園土木(株)	河野 嘉孝	甲府市下飯田二丁目 5-27	(055)222-4396 (055)222-0555	info@kzd.co.jp http://kzd.co.jp
甲南緑化(株)	岩田めぐみ	甲府市高室町 721	(055)241-6136 (055)241-6135	kounan@maple.ocn.ne.jp
(株)三枝造園	三枝 正雄	富士吉田市松山 1267-6	(0555)22-1174 (0555)22-2219	yamau.s-zouen@tbz.t-com.ne.jp
三協造園(株)	八木 幸彦	西八代郡市川三郷町市川大門 4796	(055)272-6000 (055)272-7777	sankyouzoen@beetle.ocn.ne.jp http://www.sankyo-ls.co.jp
(有)サンリツ造園土木	富岡 信也	中央市若宮 31-11	(055)273-8644 (055)273-8633	sanritsu-2006@topaz.plala.or.jp
(有)敷島緑化土木	石水 通由	甲斐市島上条 1664	(055)277-2530 (055)277-8311	sryokkas@cronos.ocn.ne.jp http://www15.ocn.ne.jp/~sryokkas/
(有)清水造園	清水 文一	甲府市里吉一丁目 7-21	(055)233-9748 (055)233-9758	shimizu.z@sea.plala.or.jp
(株)芝 保	藤原 辰男	甲府市貢川本町 18-20	(055)237-7000 (055)224-5555	shib0377@peach.ocn.ne.jp http://www3.ocn.ne.jp/~shibaho
(有)志村樹苗園	志村 好啓	甲府市緑が丘一丁目 4-4	(055)253-6983 (055)253-6985	shimura.sdv4@rouge.plala.or.jp
(有)須田造園	須田 良英	笛吹市八代町米倉 729	(055)265-2452 (055)265-3691	suda@arion.ocn.ne.jp http://www.land-s.co.jp
中央造園土木(株)	今村 尚人	甲府市徳行一丁目 9-27	(055)226-4525 (055)226-4573	info@chuouzouen.co.jp http://www.chuouzouen.co.jp
辻緑化土木(株)	辻 宏幸	甲府市朝気三丁目 3-16	(055)233-9545 (055)233-9542	info@tsuji28.net http://tsuji28.net
(株)津々美造園	堤 明伸	甲府市愛宕町 146	(055)253-2188 (055)253-7835	tsutsumi@mx10.ttcn.ne.jp http://www.tsu2mi.com
(有)東香園	名取 満	南アルプス市十日市場 1828-1	(055)282-0970 (055)282-0952	tou-kou@eps4.comlink.ne.jp
(株)仲村造園	仲村 清輝	北杜市明野町小笠原 3838	(0551)25-2348 (0551)25-2439	naka-la1@aurora.ocn.ne.jp
野尻造園建設(有)	野尻 積道	韮崎市穂坂町宮久保 5122-2	(0551)22-0615 (0551)22-2531	h-nojiri@amber.plala.or.jp
富士観光開発(株)	志村 和也	南都留郡鳴沢村字富士山 8545-4	(055)273-5753 (055)273-4919	kensetsu@fujikanko.co.jp http://www.fuji-net.co.jp/
富士急建設(株)	梶原 実	富士吉田市新西原五丁目 2-1	(0555)22-7151 (0555)22-7153	fken@fujikyu-kensetsu.co.jp http://www.fujikyu-kensetsu.co.jp
(株)富士グリーンテック	齊藤 陽一	甲府市富竹三丁目 1-3	(055)236-1600 (055)224-5520	fujit@mx.mesh.ne.jp http://www.fujigreentech.jp/
(有)美園造園土木	武藤 洋一	甲斐市玉川 1447-4	(055)276-9241 (055)279-8671	misono610@s2.dion2ne.jp http://www.yamanashi-machitsukuri.jp/misonozouen
(株)明桃園	小林 洋	南アルプス市桃園 968	(055)282-4128 (055)282-4190	meitoen@khaki.plala.or.jp
山梨ガーデン(株)	依田 忠	南巨摩郡富士川町最勝寺 1514	(0556)22-4181 (0556)22-2359	y.garden@cronos.ocn.ne.jp
(有)山宮造園	山宮 一哲	甲府市大里町 3608	(055)241-2256 (055)241-2078	yamamiya@kvj.biglobe.ne.jp
(有)吉井造園	吉井 公人	甲斐市西八幡 4044-6	(055)276-0470 (055)230-6322	yoshii-zouen@ag.wakwak.com